

「おのみちしづさ」

自転車マナー編



ジャン・クレイン博士が教えてくれる、
尾道の方言解説による自転車交通マナー。



【きよーてー】

尾道の方言では、怖い、恐ろしいことを、「きよーてー」と言います。雷が落ちたり、犬に急に吠えられたり。怖いですよ。

街中ですごいスピードで走り抜ける自転車にぶつかりそうになっても「きよーてー」思いをします。

自転車に乗っている人にとっては、風も感じられるし、こげば疲れる。生身に近い。

でも歩いている人からすると、大きくて、早くて、ぶつかれば事故になる「車」です。

歩行者の立場にも、車の立場にもなってしまう自転車。

「きよーてー自転車じゃのう」といわれないように、思いやりの気持ちをもつてのりましょうね。

*地域によっては「イビセー」「オトロシー」ともいいます。

歩行者や遅い自転車。横を猛スピードですり抜ける。





【のみのみ】（飲み飲み）

「茶ないと飲み飲み話ゆるーしようや」

「お茶でも飲みながら話をする」というときの

「飲みながら」を

「飲み飲み」と繰り返して言うのも方言ですね。

「テレビをみいみいつい寝てしもうた」なんてこともよくあります。

でも、

ケータイで「しゃべりしゃべり」自転車にのるのはいけませんね。

いくら大事な電話がかかって、

気になるメッセージが入っても、

「ながら」で運転するのはいけません。

ちゃんと周りを見て、

歩行者にも自動車にも気を付けましょう。

ヘッドホンで音楽を「聴き聴き」なんでもってのほか。

近づいてくる車の音が聞こえませんよ。



○ ケータイ運転は禁止。
電話しながらは自転車を
おろしましょう！





【ぼし・かずく】

ふるい広島弁で、帽子のことを「ぼし」と呼んでいた時代があります。ついでに「かぶる」ことを「かずく」といったりもしました。

自転車にのるときは、「ヘルメット」を「かずき」しましょう。

自転車事故は

どんなかたちでふりかかってくるか想像もつきません。

自分がわるくなくて巻き込まれてしまうこともあります。

そんなときにヘルメットをかぶっていれば

ここまでひどいことにはならなかったのに…

という事故がよくあります。

ちょっとした用事で近くへのるときも

バイクと同じように、

車のシートベルトと同じように

ヘルメットを「かずく」習慣をつけましょう。

とくに小さい子は大人が声をかけてあげてください。



ヘルメット着用！



【ここにおるよ】

暗い夜道で音もなくふつと無灯火の自転車が見られる。
向こうもこちらに気づいていない。
車もびっくり、人もびっくり。
ぶつかったら大変です。
ライトをつけるのは
明るく道をとらすためではなくて
自分のことを気づいてもらうため。

車にも人にも

「ここにおるよ」としっかりわかるように。



無灯火



【くあげる】

「ひろげあげる」「ちらかしあげる」「とばしあげる」

「ぶちまわしあげる」「しごうしあげる」のように

なにかの動作に無秩序に勢いよく

徹底的にやるようなニュアンスをそえるとき、

「くあげる」という動詞をそえる言い方があります。

自転車は車のように個室にとざされています。

横に並べばお互いの顔が見えて、話もできます。

だれもとまらない広い道ならいいんですが、

人が歩いている道、

車が行き交う車道でこれをやると、

たちまちわがままな迷惑行為になります。

「あれらみい。ひろがりあげてのりよるよ。とおらりやせん。」

(あの子たちをみてごらん。ひろがりまくってのっているよ。とおれやしない。)



横に広がって走る。



【たいぎい】

めんどくさい、わずらわしいことを「たいぎい」といいますね。

宿題たいぎい、あれもこれもせにゃいけんたいぎいたいぎい。

ちょっとしたことなんだけど、

そのちよつとが煩わしかったり面倒だったり。

自転車置き場があるのに、

「たいぎい」から歩道におく。

鍵をかけなくちゃいけないのに、

「たいぎい」からそのまましておいておく。

一人の「たいぎい」が積み重なると、

街はめちゃくちゃになります。

自転車を自転車置き場におくのを「たいぎい」がっちゃだめですよ。
きちんと鍵をかけて自転車置き場におきましょうね。





【くわて・くわて】

「ひとつわて」（一人一つづつ）

「お菓子があるけ、みんなにひとつわてやろう」

一人ずつとか一つづつとかの「くずつ」を

「あて」「わて」といいます。

自転車は、一人のりでバランスがとれるようにつくられています。

ちよつとそこまですだからと軽い気持ちでのもつて大けがをしないように。

自転車は「一人一台わて」でのりましょうね



「おのみちしぐさ」

相手を思いやり、互いに気持ち良く暮らすための哲学。

尾道市はマナーとエチケットを大切にします。

「おのみちしぐさ」・自転車交通マナー編

平成二十五年三月・第一刷発行

文章……………灰谷 謙二（尾道市立大学・芸術文化学部・日本文学科・教授）

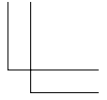
アートディレクション・デザイン……………高岡 陽（尾道市立大学・芸術文化学部・美術学科・准教授）

イラストレーション……………河村 真名（尾道市立大学・大学院美術研究科・平成二十五年修了）

発行者…尾道市

発行所…尾道市

制作…尾道市立大学・芸術文化学部



安全運転 傘さし運動

自転車は、
ルールを守って
安全運転！

人と環境に
優しい街
尾道市

